

第88回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年7月27日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第88回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○末松副大臣

・政府は、震災復興基本方針の策定に向け作業を進めている。7月19日には、知事にも出席いただき被災市町村長との意見交換を行った。作業は大詰めである。

○小野寺危機管理監

・死者数は9,258人,行方不明者数は2,452人,全壊数は69,137棟,避難所数は225箇所,避難者数は10,719人である。
・被害額は農林水産部を中心に270億円増加した。
・自衛隊撤収は8月1日であり,撤収式を10時30分から県民ロビーで行う。米軍も参加する予定である。

○今野総務部長

・コスモ石油から普通車15台を2年間無償貸与があった。

○伊藤震災復興・企画部長

・アクセス鉄道は7月23日に運転を再開する。シーパル女川は7月25日に暫定で運行する。

○小泉環境生活部長

・稲わら給与牛肉の流通状況調査20頭分判明。

○岡部保健福祉部長

・震災孤児は5人増加し,117人である。育英募金は総額6億6千5百万円である。
・ボランティアは7月23日に3,230人活動した。義援金は総額204億円である。

○千葉農林水産部長

・被害額について、265億円増加した。スモモ、トマトは放射能不検出か低い数値である。

○橋本土木部長

・第2回港湾ビジョン策定委員会を開催した。

○自衛隊

・給食3,500食、入浴11,000名、女川町、石巻市は今日まで、気仙沼市は明日終了する。

・防疫は要望箇所について終了した。

○竹内警察本部長

・遺体について、9,359体収容し、昨日は5体収容した。1週間で25体である。海上での比率が多い(21体,84%)。

・引渡数は9,338体、遺族が7,738体で、市町村が1,600体である。

○海上保安庁

・遺体について、1週間で12体収容し、増加傾向である。海水温の上昇の影響だと思われる。女川湾内が多い。

○小林教育長

・避難先学校が1校減少した。

○村井災害対策本部長

・3月11日発災以来、県内沿岸13市町において、災害派遣活動をしていた自衛隊は、7月31日までに活動を終了することになった。

・自衛隊には比類なき崇高な活躍をされたことに対し、衷心より感謝申し上げる。

○小野寺危機管理監

・8月1日に自衛隊の撤去式を行うので、多くの関係者の出席を望む。

○村井災害対策本部長

・次回は、8月3日10時00分に開催する。